

令和7年度第2回福岡市葬祭場指定管理者選定・評価委員会【議事要旨】

1 日 時：令和7年9月26日(金) 13時55分～15時00分

2 場 所：福岡市葬祭場 会議室

3 出席者

(1) 選定委員

① 赤木 保之 委員

② 東 由加里 委員

③ 岩永 美紀 委員

④ 木山 博薫 委員

⑤ 田村 和彦 委員

(2) 事務局

生活衛生部長、生活衛生課長、葬祭場整備担当主査、葬祭場整備担当係員2名

4 次 第

1 開会挨拶

2 指定管理応募者の審査手順について

3 指定管理応募者の審査

(1) 指定管理応募者によるプレゼンテーション及び質疑・応答

(2) 各委員による採点

(3) 集計結果の発表

(4) 指定管理応募者の審査に係る意見交換

5 議事概要

1 開会：13時55分 ……生活衛生課長（司会進行）

2 開会挨拶 ……生活衛生部長

3 指定管理応募者の審査手順について

事務局から、審査手順について説明。

4 指定管理応募者の審査

(1) 指定管理応募者によるプレゼンテーション及び質疑・応答

指定管理応募者から、提案内容についてプレゼンテーション。

（委 員）葬祭場敷地内の防犯灯が樹木で覆われているため、対応してもらいたい。

（応募者）早急に対応する。

（委 員）敷地境界の土砂流出の原因は猪か。

（応募者）猪が原因と思われる。昨年度までは猪が現れていたが、今年度は見かけていない。

（委 員）火葬業務を行うにあたり、職員は最低何人必要となるか。

（応募者）通常、最低8人必要であるが、火葬が多い時間帯は10～12人で対応している。

(委 員) プレゼン資料中のメンテナンスについて、詳細な説明をお願いしたい。

(応募者) 誘引排風機の振動測定・電気設備の絶縁等の点検・火葬炉の断熱材の張替えを行っている様子である。

(委 員) 利用者アンケートで、葬祭場利用中に荷物を預けたい旨の意見があるが、どのような対応を取っているのか。

(応募者) 葬祭場側で荷物の預かりは行っていない。

(委 員) トイレが遠いという意見もあるが、トイレの増設等は検討していないのか。

(応募者) 構造上の問題やスペースの関係上、増設は難しいが、身体が不自由で移動が困難な利用者などについては、多目的トイレを使用するよう案内している。

(委 員) 火葬炉更新事業が予定されており、一部の設備を制限しながらの運営になるため、ノウハウ等の蓄積がなければ、安定した火葬業務を行うことは困難であると考え。その中で、指定管理者として火葬炉更新事業に向けた対応はどのようなことを想定しているか。

(応募者) 機器の故障などの発生が予測され、その際は、利用者に迷惑をかけないよう事業者と連携を行い、迅速かつ適切な対応を取りたいと考えている。

(委 員) 常に現指定管理者はトラブルを起こすことなく、適切に火葬を行なっているので安心して葬祭場を利用することができている。

(委 員) 火葬炉更新事業について、適宜情報共有を行ってほしい。

(2) 各委員による採点

(3) 集計結果の発表

事務局から、集計結果を発表。

配点 100 点中、95.8 点であり、合格基準の 60 点以上を満たしている旨を説明。

公益財団法人ふくおか環境財団を指定管理候補者として選定することについて、委員から了承を得た。

事務局から、引き続き、今後のスケジュールについて説明を行った。